



# 小田小だより

平成28年10月号

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号 TEL 045(775)3011

<http://www-local.edu.city.yokohama.jp/sch/es/koda/>

横浜市立小田小学校

## びりを走る女の子の後ろにあるもの ～10月1日の運動会に思いを寄せながら～

校長 木村 昭雄



秋本番となり、過ごしやすい季節となりました。「秋」という言葉を聞き、皆様はどのような「秋」を思い起こすでしょうか。「芸術の秋」「文化の秋」「スポーツの秋」など、人それぞれかと思えます。そんな秋真ただ中の10月1日(土)は小田小学校の運動会です。

それぞれのチームのスローガンのもと、学級・学年が結束したり、学年を越えたたり、団体による熱い競技と演技が展開されたりします。当日までのプロセスと当日の頑張りが、子どもたちにとっては大切な成長に結びつく思い出となるに違いありません。例えば、6年生の団体演技……。昨年度は圧巻ともいえる6段のピラミッドをご覧いただきました。実は、本校では組み体操に必要なトレーニングを二ヶ月以上前から実施したり、設計図を作成し重量の負荷が分散されるような数々の工夫をすなどした上で実施して参りました。しかし、他校での組み体操による怪我や事故の報道により、ご心配する保護者の皆様も多いとお聞きしました。そのお気持ちを受け止め、本年度はピラミッドは3段、タワー等は2段にした演技構成にいたしました。6年生の子どもたちが達成感味わい、ご覧になる保護者の皆様、地域の皆様方にも感動していただける「高さにこだわらず、構成にこだわった圧巻の組み体操」を目指し、子どもたちと教職員が心を一つにして取り組んできました。

団体演技への熱い思いは、6年生だけではありません！1年生も、2年生も・・・全ての学年の子どもたちと全ての教職員の熱い思いが込められております。きっとすてきな演技を目にすることでしょう。どうかご期待ください！

ここで、以前勤務していた小学校の運動会の一コマをご紹介します。参観して間もなくすると、低学年の50メートル徒競走が始まりました。その徒競走では、一番後ろを走っている女の子がいました。みんなよりかなり遅れて走っています。目を先頭に転じると、ゴール近くでトップを走っていた男の子が激しく転びました。その転んだ男の子を、最後を走っていた女の子は走るのをやめて起こしたのです。そして、女の子は笑顔で最後のテープを切りました。その後、嬉しそうに「6」と書かれた旗のところゆっくり座りました。この女の子には、多くの人から大きな拍手がありました。保護者用の立見席の中から、「いい子ね。でも、男の子を起こさなかったら、びりではなかったのに・・・」という声も聞かれました。ふと、女の子の母親のことを思い浮かべました。「一番もいればびりもいる。みんなが嫌がるびりを引き受けたあなたは特別賞よ！」と母親が励ましているように思えました。帰宅してからも、我が家ではびりを走った女の子の話題で盛り上がっていました。

教育活動の一つである運動会は、筋書きのあるノンフィクションドラマです。その中ではどの子どもも主人公になります。631名の子どもたち一人一人の頑張りが、631個のすてきな思い出を創ることでしょう。成功の思い出に越したことはありませんが、たとえ悔しい思い出であっても、子どもたち一人一人にとっては大切な成長に結びつく思い出となるに違いありません。そのために私たち教職員は、子どもたちを支援してまいります。保護者の皆様、地域の皆様、どうか子どもたちの頑張りに温かいご声援をよろしくお願いいたします。また、近隣の皆様には早朝よりいろいろな面でご迷惑をお掛けすること存じますが、何卒、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。